

埼玉親善大使・フィンドレー大学奨学生レポート 10月  
フィンドレー大学から一步離れ

フィンドレーでは、10月30日に初雪が降り、もうコートが手放せない季節になりました。しかし、毎日が寒い訳では無く、急に暖かくなるなど気温の変化が大きく、体調を崩さないように日々気をつけています。幸運なことに、アメリカの空調設備はとても便利で、浴室にも暖房が設置されているため、家の中では快適な生活を過ごしています。

さて、今月はボストンに訪れた話とフィンドレー市内にある柔道道場の話をさせていただきます。

■ボストン ～学生の街～

マサチューセッツ州の海沿いに位置するボストンという街には、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、ボストンカレッジやボストン大学などの名門大学があります。学生が勉強するための街と言っても過言ではないでしょう。このボストンに、ボストンキャリアフォーラムというイベントを通して、訪れました。

このキャリアフォーラムは、様々な企業が一挙に集まり、日本語と英語を話せる学生向けに就職やインターンシップを案内する三日間のイベントです。私は10社以上の方々からお話を伺い、学生からの視点では無く、実際の企業からの視点を知り、将来の自分には何が必要なのか改めて考える素晴らしい三日間を過ごすことが出来ました。

このイベントの後、一日かけてボストンを散策しました。フィンドレーとは全く違う雰囲気、また違ったアメリカの一面を見る事が出来ました。また、ハーバード大学を訪問し、授業を聴講したのですが、教育の質と学生の質に驚きました。まず、大学が全寮制という事もあり、校内には沢山の寮が存在しています。その一つずつに、図書館、食堂、ジム、娯楽施設などが設置されており、学生が勉強に集中できる環境が整えられています。また、皆が寮に住んでいるので、グループワークで集まる際も、とてもスムーズで毎日学生同士が集まっては議論を交わしています。しかし、彼らは勉強ばかりしている訳では無く、それぞれが特技や趣味にも力を注いでいる事が非常に印象的でした。

次に、私が聴講した授業で興味深かったことが、その授業の進め方です。生徒と議論をしながら進める授業で、5、6人のTA (Teaching Assistant) が挙手した学生にマイクをすぐ渡し、それぞれの学生が自分の考えを先生にぶつけるのですが、日本の大学ではまず見ない光景でした。先生に怯まずに堂々と自分の意見を言う生徒達の姿勢は私も見習うべきだと思いました。



ボストンキャリアフォーラムにて友人と



ハーバード大学の食堂

### ■柔道 ~Ameri-Kan Judo Club~

小学生より習い始め、台湾留学中にも部活動に所属していた柔道をアメリカでもしたい、という気持ちから柔道道場を探していました。アメリカでは、空手やテコンドー、合気道などがポピュラーで、柔道人口はあまり大きくありません。そのため、私が今回訪れた Ameri-Kan Judo Club では私を含めて大人は4人程度しか練習に集まりません。しかし、日本の伝統武道の一つである柔道の精神が海を渡って、アメリカという地、しかもフィンドレーという地に根付いている事に非常に感動しました。

今後は日本人として、練習に積極的に参加し、「礼に始まり、礼に終わる精神」と「心身共に鍛える武道の真髄」を伝えていこうと思います。



Ameri-Kan Judo Club の先生と